

ふる里からの  
「ふくろうだより」

今年の指針  
“緒”

12月号

HP検索：[デイサービスセンターふる里](#)



“緒”で始まり“緒”でまとまりました！

令和3年も師走を迎えました。一年の月日が経つのは早いものですね。今年の正月は、前年から続くコロナウィルスで新年の幕を開けて、今年は大変な一年になるだろうと思っていました。そのような中で、7月には期待の“東京オリンピック”が開催されました。コロナ禍での大会は無観客で行われました。アスリートの皆様の気持ちを思うに、大勢の観客の前で成果を上げたかったでしょう。しかし、これまで以上の成績を上げ、アスリートの皆様が日本国民に与えてくれた感動はものすごく大きいものでした。コロナで冷え切った国民の気持ちを癒すどころか“喜び”と“笑顔”を届けてくれました。

年の初めの1月に「今年は『緒(しよ)』を指針に職員一丸となってふる里を盛り上げてまいります。」と清々しい気持ちで職員と利用者の皆様方にお話したのが昨日のように感じます。特に今年はこの指針『緒(しよ)』をこれまでよりも強く意識していました。毎日のようにLINE(ライン)で知らせてくれる娘夫婦からの初孫の様子は微笑ましい限りでした。日にちや時間の経過とともに発達する初孫のハイハイ、つかまり立ち、話始め、語彙(ごい)数の発達、おもちゃ遊び、真似っこ、曲に合わせての踊りや歌などなど、毎回すごいなあと感心させられ、その度に可愛らしさが私の心いっぱい募っていきます。孫が、お父さんやお母さんと一緒にいて喜んでる姿もさることながら、孫の日々の成長と変化に対応する娘夫婦の喜び、笑顔、感動の様子が孫に“愛”が伝わっているようで大変嬉しくなります。正に“緒(しよ)”！繋がっているなあ！と思いました。毎回毎回LINE(ライン)で会話しながらの日々は私にとって充実していました。コロナ禍で孫とも会えないのが大変辛かったことを今感じています。そんな辛かった時に二人目の報告、先月の『ふくろうだより』の巻頭言に娘夫婦に長男が生まれたことを書きましたが、嬉しくて嬉しくて飛び上がらんばかりの喜びでした。長男が生まれてひと月が経つ先月末に東京に行きました。ちょっと肌寒い時期でしたが、天候に恵まれました。

娘夫婦の近くに『王子神社』があり、娘婿のご両親様も宮参りに駆けつけて下さいました。長女が誕生した時の宮参りも駆けつけて下さって、お互いの家族が神聖な場所でお祝いができることが嬉しくて、有難くて、今回も正に『子は鎧(かすがい) …』だなあと感じました。孫を通じてご両親とのつながりを持ってくれたことに感謝です。今年一年間の指針として立てさせて頂いた言葉“緒(しよ)”は、今年の私を象徴する言葉だったなあと思います。令和3年も残すところわずかとなりました。これまで以上に忙しくなることでしょう。私を支えて下さった利用者や入居者様方や関係者の皆様、勿論、職員が居て下さったから、充実した1年になりました。令和3年の残りの日々を利用者や入居者様方、そして、職員を毎日最高の笑顔で支えるよう頑張っ



て参ります。来る新しい年が皆様にとって明るい年になりますよう祈っています。センター長 森 隆敏

11月行事



11月行事は、「チャレンジバトル」と題し、16日、17日、18日の3日間で開催されました。利用者の方々と職員を3チームに分けて、それぞれのチームで力を合わせて様々なゲームにチャレンジしてもらい、勝負に勝ったチームにはメダルのポイントが与えられ、より多くのメダルを獲得したチームが優勝!!というものでした。チーム名は秋にちなんで、「かぼちゃん」「くりちゃん」「いもちゃん」と秋が旬のマスコットキャラクターを使いチーム分けをしました。ゲームの内容は、各チームから2名ずつ選出し前に出てきてもらい、時間内に投げたりたたいたり身体を動かして勝負するものもあれば、箱の中からカラーボールを引いて運で勝負するものなど様々な種類のものがありました。ゲームに参加している人だけでなく、様子を見ている周りの方々も楽しむことができ、「こんなに笑ったのは久しぶり!」、「いろいろなゲームがあつてすごく楽しかった!」との声を多く聞くことができました。見事優勝したチームには、金メダルの授与があり、一人一人の首にメダルをかけました。皆さんとても嬉しかったようで、「家族や孫にあげる。」と嬉しそうに話される方や記念にそのまま帰られる方もいらっしゃいました。和気あいあいとして終始笑顔に包まれた11月行事も大変盛り上がりました。





司会者の登場もテーマである「チャレンジバトル」にちなんでサッカー選手の格好やボクサーに扮して派手に登場してくれました。BGMもよく大いに盛り上げてくれました。サッカーボールは蹴ってもまた戻ってくるように糸を括り付けるなどの工夫も見られ大変凝っていてすごかったです。利用者の方々も職員もゲームをしている方も見ている方もとても楽しめるものとなった11月行事！無事に終わり大成功でした。  
 行事担当 三重亜津沙, 白石奈智子

## 行事食紹介♪



## 訪問ボランティア

22日(月)に「吟剣詩舞道・秀月流 秀月会様」による踊りの訪問がありました。ダイナミックで男らしい踊りに利用者の方々も圧倒されていました。最後の踊りは皆さんで踊られ、とても迫力があり格好よかったです。また、26日(金)には「おはなしの部屋」がありました。今回は、絵本と紙芝居の二つを読んでもいただきました。本当に有難うございました。



## 居宅介護サービスセンター ふる里

介護保険について、介護保険の申請代行、ケアプラン作成、介護サービスの紹介・支援など行い、介護全般の相談役であるケアマネージャー(介護支援専門員)が皆様の心配事を専門的な立場で、安心した生活を送っていただく方向で解決いたします。業務に関する手数料や、ご利用に係る料金は**無料**です。24時間サービス体制をとっていますので、介護・福祉のアドバイザーとしてご家族の身近に置いてください。



## 十二月の行事予定

◆ふる里 12月行事 『ふる里餅つき忘年会』  
 11月23日(木)・24日(金)・25日(土)

◆生花教室 ~齊藤マサミ先生~ 6日(月)・17日(金)

◆書道教室 ~中村 朱実 先生~ 9日(木)・27日(月)

◆おはなしの部屋~鐘ヶ江先生他~ 22日(水)

※1 ふる里おはなしの部屋の時は、**午前中入浴**となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。

◆押し花教室 ~中村壽美子先生~ 21日(火)

◆麻雀・将棋・囲碁 … 毎週水曜日午後  
 (8日、15日予定)



## 今月の作品



新年を迎えるまで一か月を切りました。先日ふる里では、干し柿を作りました。利用者の方々に皮むきなど手伝ってもらいあっという間に出来上がりました。出来上がったら皆で仲良く食べれたらいいと思います。段々と寒さも厳しくなってきました。くれぐれも体を壊さないよう体調管理に気をつけましょう。編集後記 三岳由弥